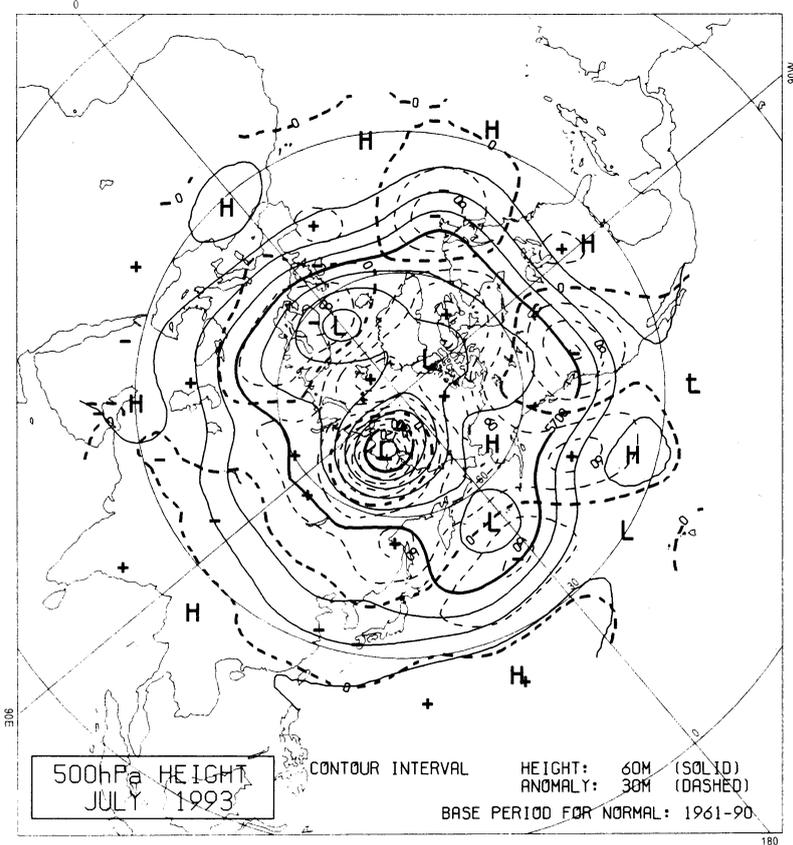


1993年7月の大気大循環と世界の天候 月平均 500 hPa 天気図



(破線は平年からの偏差。単位m)

表 1 1993年7月の気候表

地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級	地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級
パリ	17.9	-0.3	-0.2	47	93	—	カサブランカ	22.9	0.7	1.2	0	0	—
ベルリン	—	—	—	—	—	—	ニオロドサヘル	30.3	1.1	1.4	152	97	3
ローマ	—	—	—	—	—	—	プレトリア	—	—	—	—	—	—
イスタンブール	22.6	-0.6	-0.9	7	40	2	バンクーバー	16.4	-0.9	-0.9	35	106	4
モスクワ	17.5	-0.9	-0.6	111	131	—	ニューオリンズ	28.5	0.4	0.4	147	79	2
オデッサ	19.6	-2.2	-1.7	42	97	3	セントルイス	27.7	1.6	1.1	129	140	4
ニューデリー	30.7	-0.3	-0.3	349	149	5	サンフランシスコ	18.2	1.4	1.8	0	0	3
カルカッタ	29.6	0.4	1.0	473	142	5	ニューヨーク	26.7	2.0	2.0	43	48	2
ボンベイ	27.7	0.1	0.3	713	95	3	マナウス	26.7	0.1	0.3	35	51	1
ホンコン	28.9	0.3	0.8	155	49	1	サンパウロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	22.8	-0.1	-0.1	118	64	1	ロサリオ	10.0	-0.3	-0.1	9	22	2
ベキン	25.2	-0.7	-0.8	206	107	4	ホノルル	27.0	0.7	0.9	18	113	4
ジャンハイ	26.6	—	—	128	—	3	タヒチ	25.8	1.4	3.5	33	63	2
バンコク	29.8	1.1	2.8	121	70	—	ダーウィン	25.5	0.8	1.0	0	0	3
マニラ	27.5	-0.2	-0.5	—	—	—	キャンベラ	7.3	1.9	2.4	121	306	6

7月の世界の天候

7月の500 hPa 高度は、北アメリカ大陸西部、北大西洋西部、ヨーロッパ、及びタイミル半島から北極海にかけては負偏差、オホーツク海付近、アラスカ付近、及びカナダ東部からグリーンランド付近では正偏差が、いずれも半月ないしそれ以上持続した。このため月平均では夏期として珍しく強い偏差パターンとなった。

①中国東部から日本にかけての低温多雨

太平洋高気圧の張り出しが弱く、オホーツク高気圧の勢力が強かった。梅雨前線の活動は活発で、中国東部と日本は月平均気温が平年を $1.5\sim 3^{\circ}\text{C}$ 下回る低温と、多いところで平年の3倍に達する多雨となり、土砂崩れ、洪水による多数の死者を含む被害が報じられた。

②シベリア中部の高温

シベリアの気温は、500 hPa 高度で負偏差域が持続したタイミル半島付近を除き、ほぼ全域で平年より高く、特に中部では高温だった。

③モンゴルの多雨

モンゴルでは中旬以降まとまった雨が降り、月降水量は平年を大きく上回ったが大きな被害は出ていない模様。

④アジア南部の高温と洪水被害

アジア南部では広い範囲で高温となった。インドモ

ンスーンの活動は全体としてはほぼ平年並であったが、一部が多雨となり、ネパール、インド北部や北東部、バングラデシュで、相次いで洪水が発生し、死者数は数千人にのぼると伝えられた。

⑤ヨーロッパ南東部から中東にかけての少雨

ヨーロッパ南東部や西部では、ブルガリアのソフィアで月降水量9 mm (平年の14%) など少雨となった。

⑥アラスカの高温

ベーリング海峡をはさんでアラスカとシベリア東端部では高温となった。

⑦アメリカ合衆国北西部の低温多雨

5月から多雨傾向が続くミシシッピ川上流の穀倉地帯では、6月に発生した大規模な洪水が、今月はさらに拡大し、農業などに甚大な被害をもたらした。

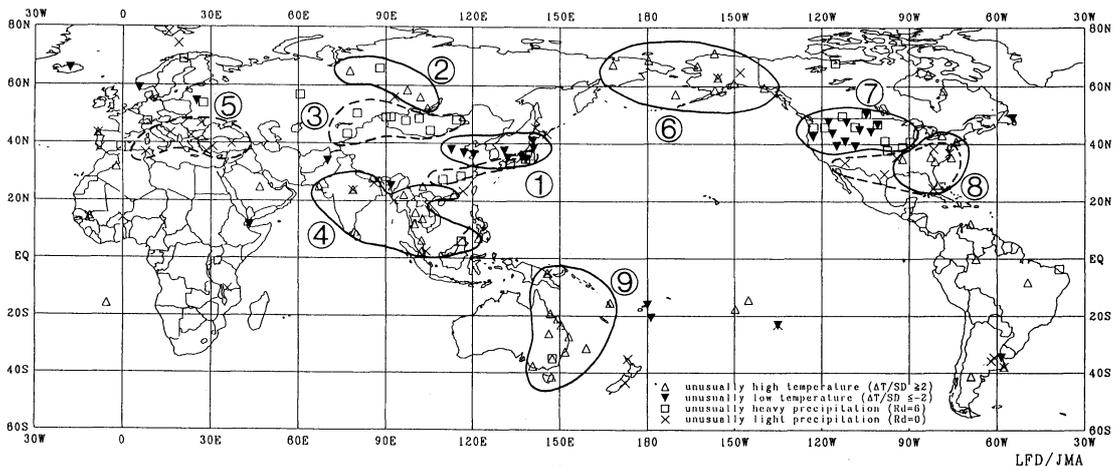
⑧アメリカ合衆国南東部の高温少雨

アメリカ合衆国の東部沿岸地域では、上・中旬に熱波にみまわれ、数十人の死者の被害が報じられた。

⑨オーストラリア東部の高温

オーストラリアは東部沿岸を中心に高温となり、ブリスベーンでは月平均気温 17.7°C (平年偏差 $+2.7^{\circ}\text{C}$) を記録した。

(気象庁長期予報課 小出 寛)



1993年7月の世界の異常天候分布図

△：高温 ▼：低温

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

□：多雨 ×：少雨

1993年7月の気候表の説明。平均値は、1951～1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500 hPa 高度場の平均値は1961～1990年の30年平均値。